

# 第6次 日南町総合計画(概要版)



日南町総合計画は、今後10年間の日南町のまちづくりの方向性をあきらかにするための最上位計画です。その他の個別計画は、総合計画の方向性に基づき策定・改定されます。

今回の総合計画から、持続可能な開発目標(SDGs)を各基本計画に盛り込み17の目標を計画ごとに割り当てています。総合計画とSDGsの17の目標の目指すべき方向性は同様であり、「総合計画の推進=SDGsの目標達成」と位置づけました。

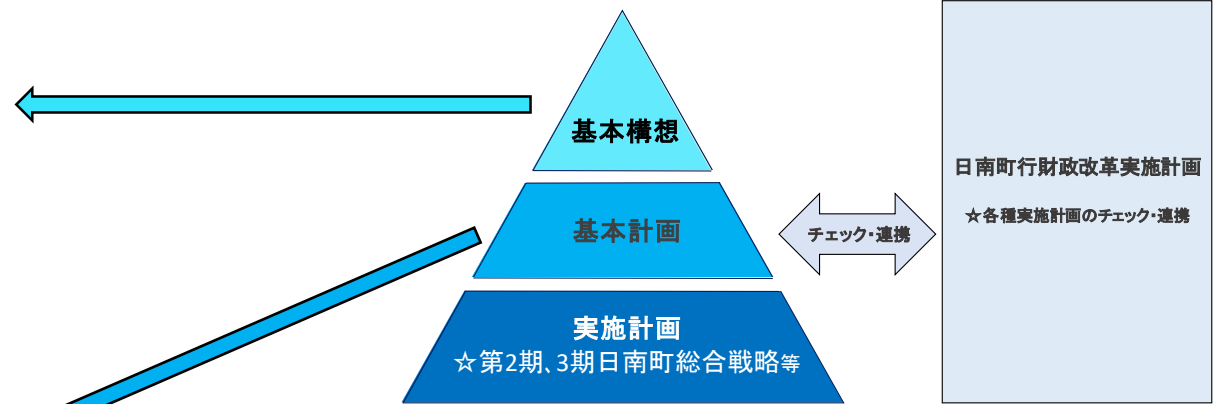


## 【基本構想】

『創造的過疎のまちへの挑戦』に向けた  
「ひとづくり」と「持続可能なまちづくり」

## 【基本計画】

- (1)しごとをつくり、安心して働けるまちづくり
- (2)日南町への移住・定住を促進させる
- (3)結婚・出産・子育ての希望を実現させる
- (4)安心して暮らし続けられるまちづくり



	R2 (2020年度)	R3 (2021年度)	R4 (2022年度)	R5 (2023年度)	R6 (2024年度)	R7 (2025年度)	R8 (2026年度)	R9 (2027年度)	R10 (2028年度)	R11 (2029年度)
基本構想	第6次 日南町総合計画基本構想(10年)									
基本計画	前期 基本計画(5年)					後期 基本計画(5年)				
実施計画	第2期 日南町総合戦略(5年)*1					第3期 日南町総合戦略(5年)*1				
日南町行財政改革実施計画	日南町行財政改革実施計画(2020~2024)					日南町行財政改革実施計画(2025~2029)				

# 第6次日南町総合計画（概要版）

## 基本構想

「ひとづくり」、「持続可能なまちづくり」  
～創造的過疎のまちへの挑戦～

## 基本計画

しごとをつくり、安心して働けるまちづくり

日南町への移住・定住を促進させる

結婚・出産・子育ての希望を実現させる

安心して暮らし続けられるまちづくり

## 実施計画

- 農業の振興
- 林業の振興
- 商工業の振興
- 就労・雇用

- IUターン対策
- 住宅施策
- 関係人口増加対策
- 地域おこし協力隊制度
- ふるさと納税

- 結婚対策
- 出産・出産後のサポート
- 小児科医の確保
- 保育
- 義務教育

- 防犯・防災・交通安全
- 上下水道の整備・管理
- 交通の確保
- 公共施設等維持管理
- 保健 ○地域医療
- 地域福祉 ○高齢者福祉
- 障がい者福祉
- 人権施策 ○まちづくり
- 大学連携 ○生涯学習
- 観光 ○国際交流
- 情報発信 ○環境対策

## (1)しごとをつくり、安心して働けるまちづくり

商工業者の後継者不足による事業閉鎖・縮小が依然として続く一方、従業員確保が困難な事業所も多い状況です。町内事業者の事業承継・起業支援に引き続き取り組むとともに、IUターン者の企業支援にも取り組みます。また、「求人者」と「求職者」のミスマッチを解消するため、ハローワーク、商工会と連携した事業を展開していきます。

日南町の主要産業である農林業を充実発展させることにより、魅力ある安定した職場として発展させることが求められます。あわせて、準高冷地の気候を活かした水稲やトマト、ピーマン、白ネギ、ブロッコリーといった市場でも高い評価を得ている農産品の販路拡大、AI、ICTを活用した作業効率化も検討し、農業の所得拡大を図ります。また、林業においては、平成31年に開校した「にちなん中国山地林業アカデミー」により、即戦力の育成を図りスムーズな雇用へつなげることを目指していきます。

以下の観点で取り組みを推進します。

### ■農林業後継者の確保・育成

### ■起業・事業承継支援

### ■商工会、ハローワークなど関係機関と連携した雇用対策強化

### ■求人者と求職者のミスマッチ解消

### ■日南町の強みを活かした産業振興及び企業誘致の推進

### ■外国人技能実習生制度を活用した人材確保施策

### ■元気な高齢者の雇用の場の確保



## (2) 日南町への移住・定住を促進させる

高齢化率が50%を超える日南町にとって、それを支える生産年齢人口を増やしていくことは喫緊の課題です。この課題に対応すべく、移住者のターゲットを明確にし、そのターゲットに応じた具体的な対応策が求められます。

また、移住はしたが一定期間後は町外に転出されるケースも少なからずあるため、移住者の方々に「この町に来てよかった」「ずっとこのまちに住みたい」と思っていただけのような定住促進に向けた取り組みも必要です。これについては、移住後のアフターフォロー体制をより細やかにすることで解決を図っていきます。

さらに、町営及び県営の賃貸住宅に加え、生山定住促進団地の活用など、受け入れ環境整備についても重点的に取り組んでいきます。

以下の観点で取り組みを推進します。

- 移住相談員による相談対応強化
- IUターン希望者へ向けた積極的な情報発信
- 町営住宅、空き家を活用した住宅施策の充実

## (3)結婚・出産・子育ての希望を実現させる

日南町における20代～40代の男女の既婚、未婚率を鳥取県と比較してみると、男性の未婚率が非常に高いことが分かります。女性はほぼ県平均ではあるものの、20代～40代の女性にとって結婚・出産・子育てに対する「安心感」を与えられるかが重要であり、その安心感を与えられるまちづくりを目指していきます。

町内における小児科医については、常勤専門医師が不在であり、現在は週2回地元大学医学部から日南病院に派遣を受けていることもあり、小児は県西部の開業医で比較的多く受診されているのが現状です。小児科医が不足していることは全国的な傾向として見受けられる事象ですが、子どもの病気の発症は夜間など診療時間外になることも多くあり、保護者の「不安感」を「安心感」にシフトしていくために、「総合診療医」の配置など、関係機関等と連携しながら小児科医療の充実に向けた取り組みを行っていきます。

教育面では、町内でも核家族化が進み、保育園は入園年齢の低年齢化への対応や子育ての相談センター的な役割も担っています。近年は発達の気になる子も増え、支援担当の保育士を配置するなど、現在障がい児保育の専門性を活かした保育の充実やさまざまな家庭支援を現在行っています。

平成21年度の日南小学校の開校に合わせて、「保小中一貫教育」の推進に努めており、学校教育目標やめざす子ども(生徒)像も統一して取り組んでいます。義務教育9年間の学びをつなげていくとともに、保育園から情操教育の向上を図っていくよう努めていますが、今後は学力向上、AIの導入、英語力の強化や異文化に触れグローバルな視野を持ってもらうことを目指した教育にも取り組んでいきます。

以下の観点で取り組みを推進します。

- 出会いの場の提供による結婚希望者支援
- 安心して出産・育児ができるサポート体制の強化
- 小児科医、総合診療医配置の検討
- 多様な変化に対応できる人材を育む教育環境整備

## (4) 安心して暮らし続けられるまちづくり

豊かな自然環境に囲まれた日南町で暮らすことは個人のライフスタイル、価値観が大きく変化する社会にあっても、大きな魅力を秘めています。それは現在暮らしている私たちだけでなく、都市部で暮らす方々にとっても、豊かな自然環境の中で子育てし働くことは一定のニーズがあるのと考えます。そのためには、雇用の場、子育て、教育、保健・福祉、医療、防犯、防災、公共交通など生活全般にわたるきめ細やかなまちづくりが重要となります。近年増加する大雨による土砂災害など住民の皆様の命を守る災害対策の強化や、地域と連携した防犯対策、自立した地域づくりなどに重点を置き、以下の観点で取り組みを推進します。

- 災害に強いまちづくり
- 医療、福祉が連携した未病対策の強化
- 安心して利用できる公共交通システムの構築
- 自立した人づくり地域づくり
- 子供から高齢者までの学びの場の確保
- 地域資源を活かした観光施策、交流人口増加施策の強化
- 水源のまちの責務である森林・水資源の保全強化



## 【まとめ】

日南町は、「日本の30年後の姿」と自覚し、平成18年度から『30年後の日南町の姿プロジェクト』等により少子高齢化に伴う地域コミュニティ機能の維持など、議論を重ねてまいりました。

今後は、「ひとづくり」と「持続可能なまちづくり」へ挑戦することにより、日本の過疎・少子高齢化が進行する地方自治体の先陣を切って『創造的過疎のまちへの挑戦』をさらに推進していきます。日南町で暮らす全ての方が安心して住み続けられるよう、元気で心豊かな、そして住んでいる人が誇れるまちづくりを進めてまいります。

まちづくりを「自分ゴト」としてとらえ、全員参加で共に自立に向け挑戦していきましょう。